

高齢者の医療費の助成に関する条例案について

2014年11月28日
日本共産党東京都議会議員団

1. 提案の理由

国は70～74歳の医療費窓口負担を1割としていましたが、今年度から2割に引き上げてしまいました。2014年4月2日以降に誕生日を迎えた方から実施されています。

今年の4月から消費税が8%に増税され、重い負担となっています。年金の切り下げも行われ、国民健康保険料（税）も毎年のように値上げされています。来年度は介護保険料の改定の年となり、このままだと基本の介護保険料は月額1千円前後値上がりがねません。年金のみで生活している高齢者にとって、年金からの天引きばかりが多くなり、使えるお金はさらに少なくなり、暮らしますます困難になっています。

高齢者になれば、高血圧や糖尿病をはじめ、継続して通院し管理していれば元気に過ごせる病気を持っている方は多くいます。その他の病気でも、早期の通院が重症化を防ぎます。経済的な困難によって通院を控えて重症化しないためにも、医療費窓口負担の軽減は重要です。

2割負担に引き上げられた、70～74歳の方々の医療費窓口負担を東京都として1割負担に戻し、高齢者の健康を維持し暮らしへの影響を緩和するため、本条例案を提出するものです。

2. 対象者及び助成の内容

70～74歳の方のうち、2014年4月2日以降に70歳の誕生日を迎える、医療費の窓口負担が2割となっている方を対象として、医療費の窓口負担が1割分になるよう都として医療費の助成を行います。

3. 実施時期

2015年4月1日

以上